

# おごせ 教育 Pick Up



## 越生小学校

4月17日に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。今年度は国語、算数に加え、理科も実施されました。本年度も調査結果の検証を基に、児童の更なる学力向上に取り組んでまいります。

## 梅園小学校

入学式では、13名の新入生を迎える全校60名で本年度の教育活動をスタートしました。新入生も式の間、集中して話を聞き大変立派な態度でした。



## 越生中学校

4月14日(土)、今年度第1回目の授業参観を行いました。大勢の保護者の皆様に、生徒が頑張る姿を見て頂きました。越生中学校は、今年も日本一の中学校を目指して参ります。



### おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。

○新学習指導要領への準備  
昨年3月に新しい学習指導要領が示され、小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から実施されます。今年度はその準備期間となります。準備期間では、本番と同じ時間割にしてもよいことになりますので、越生町は本番同様の時間割にしていきます。授業時間が増えますが從来から行っている二学期制・土曜日授業により、授業時間が確保できています。

### ○特別の教科「道徳」

小学校は今年度から、中学校は来年度から、「道徳の時間」が「特別の教科道徳」として、国から無償配布される教科書を使って授業を行います。評価は数値ではなく文章で表しています。

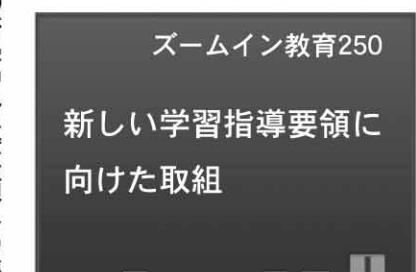
○全国学力・学習状況調査などから、町の子供たちは「自分の考え方や意見を発表すること」にやや苦手意識があることが分かりました。そこで、いろいろな場面で自分の意見を発表する教材としてタブレットPCを活用し、今まで以上の表現力や学力を身に付けるよう目指します。

### ○タブレットPC

今年度から、全国の小学校で3年生から「外国語活動」を行い、平成32年度から5・6年生で「外国語」を行います。町では、小学校1年生から外国语（英語）活動を行い、5・6年生では外国语（英語）に向けて指導を充実させていきます。

### ズームイン教育250

#### 新しい学習指導要領に向けた取組



○「外国語活動」「外国语」  
今年度から、全国の小学校で3年生から「外国語活動」を行い、平成32年度から5・6年生で「外国语」を行います。町では、小学校1年生から外国语（英語）活動を行い、5・6年生では外国语（英語）に向けて指導を充実させていきます。

世田谷区奥沢の浄真寺は、境内の3棟の阿弥陀堂に、開山珂碩が自ら彫つた3体ずつ、計9体の阿弥陀如来像が安置されていふことから、九品仏と通称される浄土宗の大寺です◆3年前、東京の築地から

越生浪漫

No. 112

九品仏の

古帳庵句碑



九品仏を祀る淨真寺の三仏堂（阿弥陀堂） 左から下品堂・上品堂・中品堂 本年3月7日撮影

の古帳庵句碑と同じく、正木龍眠によるものでしよう◆句碑と並ぶ「開山珂碩上人一百五十遠忌三界萬靈供養塔」には六人の戒名と世話人「深川黒江町金蔵」「神田於玉池庄兵衛」の名、「右六靈文化十酉年秋没、天保十四年癸卯年七月三十三回忌取越七月建之、日本六十餘州回国江戸小町鈴木金兵衛」と記されて

いります。取越は、文化13年(1813)の物故者の三十三回忌を2年繰り上げて、天保14年(1843)に行つた取越法要を意味します◆なぜ、日本橋の鈴木金兵衛が、城西の世田谷に二つの碑を建てたのか。また、新たな謎が生まれました◆岡田さんとの共同調査の約束は、連絡がつかずになり果たせませんでした。情報提供に深謝するとともに、お詫び申し上げます。

左：古帳庵句碑拓本，右：「開山珂碩上人一百五十遠忌三界萬靈供養塔」と古帳庵句碑

議なことに、埼玉県東部では1970年頃から減少し、現在は観察できない地域があります◆成虫は5月、7月、9月の年3回発生し、跳ねるような独特の飛び方をし、いろいろな花の蜜を吸い、花粉媒介虫として植物の結実に役立っています。「昆虫と自然の館」のミントの花にもよく訪

ヒメウラナミジヤノメを含むジヤノメチョウ科の仲間は地味な蝶が多く、蛾と間違えられることがあります。しかし本種をよく観察すると、裏側の白と茶色の「さざ波」の模様と大小の「蛇の目」の紋様（眼状紋）が美しいです。東アジアに生息し、南西諸島を除く日本全土に分布する普

おごせ  
昆虫と自然の館  
通信 No.73

## ヒメウラナミジヤノメ 「チヨウ目タニハチヨウ科」



## ヒメウラナミジャノメの裏

花しています。幼虫は草原のいろいろなイネ科植物の葉を食べます◆蝶や蛾の翅に存在する大きな眼状紋は、捕食者である鳥の攻撃をひるませる効果があります。一方、本種にあるような小さな眼状紋は鳥の攻撃を小さな眼状紋に集中させ、体そのものを守つているという説があります。ジヤノメチョウ科の仲間の小さな眼状紋は、どの種も体から離れた翅の外側にあることから、この説はかなり有効だと筆者は思っています◆近縁で静岡県以西に分布するウラナミジヤノメは各地で減少傾向にあるのに対し、本種は、草原や河原で極めてよくみられる蝶です。